

操作性に優れた NTT 電話番号検索サービス “ANGEL LINE” 用 Windows 版通信ソフト

3 Z-10

加藤誠巳 毛利秀之 舘野剛

(上智大学理工学部)

1 まえがき

NTTが行っているパソコン通信を用いた電話番号検索サービス“ANGEL LINE”は現在のところMS-DOS上で動作するものしか配布されていない。一般の通信ソフトでも検索は可能であるが、やはり専用のソフトと比べると使いやすいとはいえない。本稿では、Windows上で動作する操作性に優れた“ANGEL LINE”専用の通信ソフトを作成したので御報告する。

2 ANGEL LINE

ANGEL LINEはパソコン通信を利用してNTTの番号情報センターに直接アクセスし、自分で全国の電話番号を調べることが出来るサービスである。特徴としては以下のことが挙げられる。

- 全国どこからでも24時間利用が可能
- 料金は3分10円
- 1通信につき2回まで検索可能
- ハローページに掲載されている情報を検索可能

3 システムの機能

本システムは大きく2つの部分に分けられる。即ち検索データを入力する部分とANGEL LINEに回線を接続して先に入力したデータに基づき検索を行う部分である。

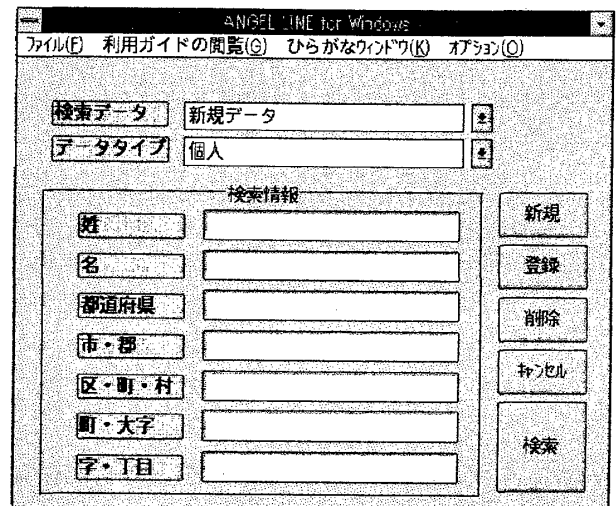


図1 メイン画面

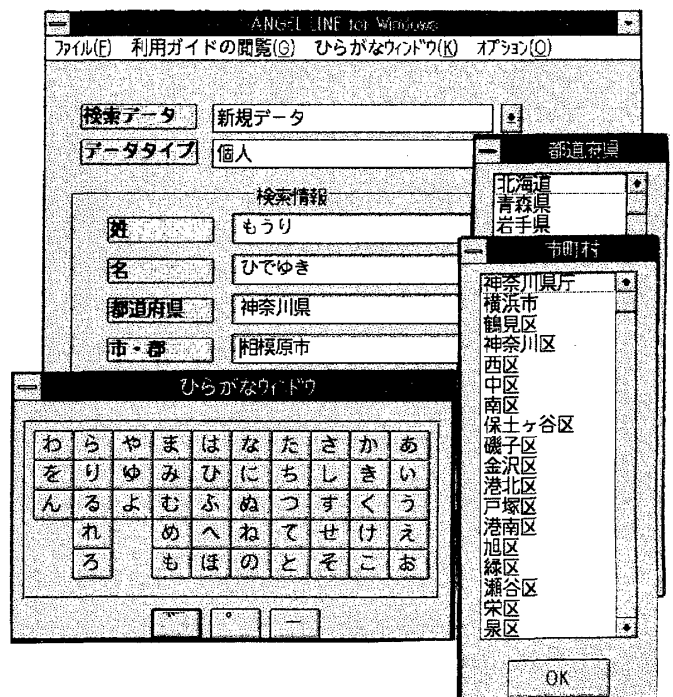


図2 検索データの入力

3.1 検索データ入力の方法

検索データの項目は、例えば検索対象が“個人”のとき、上から姓、名、都道府県、市・郡、区・町・村、町・大字、字・丁目の計7項目からなる。ここでデータの入力を容易にするために、以下に示すようにいくつかの方法を採用した。

- ① キーボードからの入力が苦手な人を考慮して“ひらがなウィンドウ”を用意した。これはひらがなの五十音のボタンをマウスでクリックすることによって、全ての情報の入力出来るようにしたものである。
- ② “都道府県”の項目において、例えば県名が確定されたとき、その下の項目において、その県内の市・郡が表示されるようにした^[1]。
- ③ 地図上の任意の場所をマウスでクリックすることにより地図から検索地名情報の入力が行えるようにした。
- ④ Microsoft Windows Sound System (WSS)の音声認識機能を用いて音声による入力も行えるようにした。

3.2 検索の実行

この部分では、実際にNTTの“ANGEL LINE”に電話をかけ回線を接続し、電話番号の検索を行う。まず、回線が接続されると、予め入力した検索データを用いて検索が開始される。データの情報量が少なすぎて検索が出来なかった場合は、情報の修正を行う必要があるが、3分を1サイクルとして料金を表示し、修正の際には回線を接続したまま行いか、回線を切断して行いか選択出来るようにしている。

4 むすび

NTT電話番号検索サービス“ANGEL LINE”用のWindows版通信ソフトについて述べた。このシステムでは、検索したいデータの入力を回線を接続しない状態でいい、実際に検索を実行するときのみ回線の接続を行うようにしている。これにより通信時間が削減され、無駄な料金が軽減されることになる。

最後に、有益な御討論を戴いた本学マルチメディア・ラボの諸氏に謝意を表する。

参考文献

- [1] 日本の市区町村：“位置情報要覧（平成7年度版）”，建設省国土地理院，(1995)。

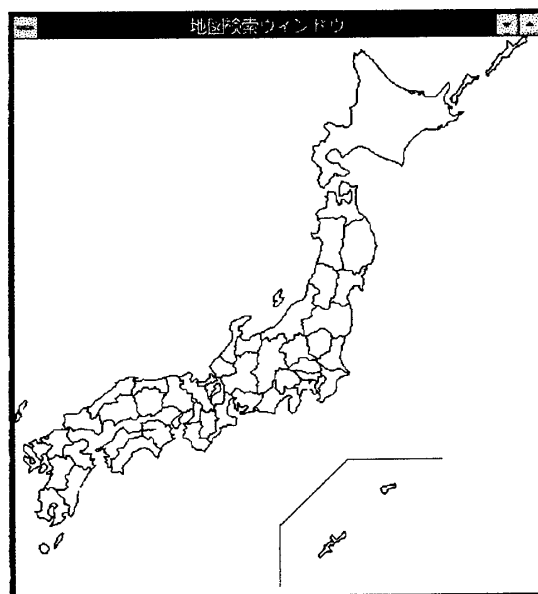


図3 地図からの検索

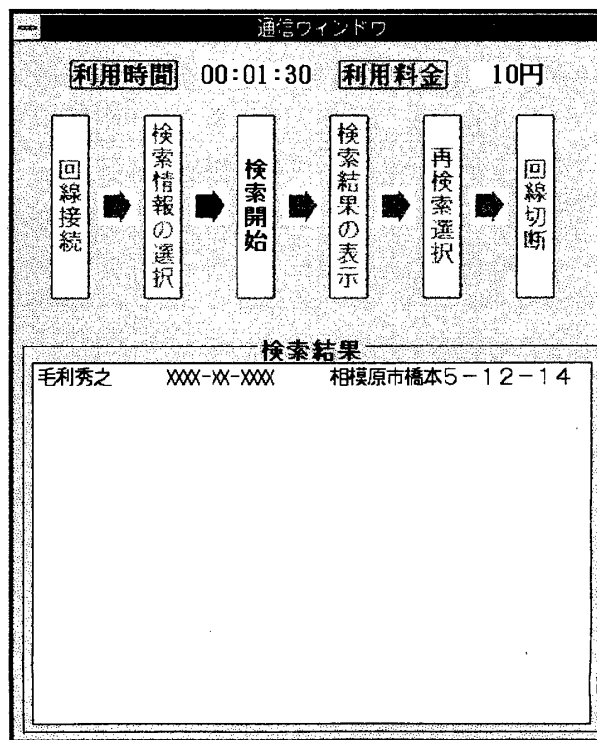


図4 検索結果の表示